

第 16 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 12 月 21 日 (水曜)		14 時 45 分 開会	
	休 憩 15:32-33 15:43-55 16:43-44 16:56-57			
	17 時 12 分 閉会			
	休憩時間：0 時間 1 5 分		会議時間：2 時間 1 2 分	
会議場所	3階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	渡辺洋一郎	委員	正村紀美子
	副委員長	黒田 栄継	委員	堀切 忠
	委員	常通 直人	委員	橋本 和仁
	委員	西尾 一則		
	委員	柴田 正博		
説 明 員	公立病院事務長	西科 純	政策推進係長	村上 佳子
	参事	江崎 健一	政策調整係主任	藤村 勇貴
	総務係長	佐藤 文彦	都市経営課長	佐藤 季之
	経営企画係長	杉本 康次	都市経営係長	斎藤 錦
	生涯学習課長	日下 勝祐	都市経営係主査	山田 大樹
	図書館長	藤澤 英樹	子育て支援課長	佐々木雅之
	社会教育係長	村島志津佳	子育て支援センター長	阿部 弘美
	スポーツ振興係長	梅森 祐之	子育て支援係長	大浦 啓介
	政策推進課長	石田 哲		
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田瑞紀		
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項 ア 公立芽室病院新・改革プラン最終評価(案)及び公立芽室病院経営強化プラン(案)について 資料 1-1～1-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務長：資料説明(資料「1-1」概要説明) ・参事：資料説明(資料「1-2」～「1-4」概要説明) ・委員長：最初に「資料 1-1(公立芽室病院新・改革プラン)」について、意見・質疑はないか? ・正村委員：資料 5 ページ。「十勝医療圏における医療機能ごとの病床の状況」につ 				

いて、今後の傾向をどのように分析しているか？

- ・事務長：急性期が減り、回復期、慢性期が増加傾向になるものと推察する。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：次に、「資料 1-2 (「公立芽室病院経営強化プラン」の策定概要)」について、意見・質疑はないか？
- ・黒田委員：「3：プラン作成に求められる基本事項」のうち、「(3) 経営形態の見直し」について、全部適用移行に向けた検討として、目指すメリットは何か？
- ・参事：事業管理者を配置し、院内で責任を持った医療が実現できる。医療と経営の質の担保がメリットと捉えている。課題としては、独立した機能の確立と強化である。
- ・堀切委員：令和3年度に先送りした「全部適用」について、その後の経過は？
- ・参事：理事者側の意思決定に至るプロセスの最中である。
- ・正村委員：「(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革(新)」について、令和4年度は医師が11名在籍しているが、この取組みによる今後の必要医師数の見通しは？
- ・事務長：当直等の状況によって状況は流動的である。現在は、大学等の派遣医師にもサポートしていただきながら運用しているものである。ただし、大学等派遣先においても働き方改革は同様に行われているので、相関性が存在する。看護師等医療技術職においては、時間外勤務の圧縮等により安定的な働き方を確保するよう取り組んでいる。
- ・正村委員：「(5) 施設・整備の最適化(新)」に向けた取り組みとして、事業のスクラップアンドビルドの実例は？
- ・参事：ICT活用の視点を重視している。省力化により、かつ、安全性を重視していきたい。
- ・正村委員：一般会計の繰出基準の考え方も変化してくるのか？
- ・事務長：プランと直接的な関係要素は高くないが、事業会計の運用として、政策の色が濃い病院経営をどのようにしていくかは、理事者の意思が前提となる。
- ・委員長：他に意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：次に、「資料 1-3 (「持続可能な地域医療体制を確保するための公立芽室病院経営強化ガイドライン」概要)」について、意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：最後に、「資料 1-4 (「公立芽室病院経営強化プラン」)」について、意見・質疑はないか？
- ・堀切委員：7ページ。コロナ病床の使用状況と使用率について伺う。
- ・事務長：27床の枠があり14床使用している。コロナ病床は1人1部屋が原則であり、現時点では14部屋を稼働している。
- ・堀切委員：今後の見通しは？
- ・事務長：入院数の実績は、令和2年度75人、令和3年度72人、令和4年度86人。

今後も横ばい傾向と見通している。

- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 芽室町総合体育館改修工事について 資料 2-1、2-2

- ・生涯学習課長：資料説明（概要、現状と課題、町民の要望事項、アスリートミュージアム概要、キッズスペース概要、今後の予定）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・堀切委員：地域集会施設に関する協議経過の概要は？
- ・都市経営係長：関係町内会長を主たるメンバーとして、協議を重ねてきた。勤労青少年ホームや体育館の中に、地域集会施設の機能を設けることの協議においては、用途が異なる機能が混在すると様々な課題や支障があるとのことから、単独等別の場所で検討することになり、体育館内での「集会施設機能」の候補スペースであった「トレーニングルーム」は、本日提案する新たな「キッズスペース」として検討を進めているところである。
- ・堀切委員：会議室機能はあるのか？
- ・都市経営係長：研修室を想定している。
- ・橋本委員：キッズスペースの2つのエリア設定について、詳しく説明を求める。
- ・生涯学習課長：資料の図面上には明確にエリア設定していないが、「帯広市総合体育館（以下、「よつ葉アリーナ」という。）」の機能を参考に区分していきたい。
- ・橋本委員：キッズスペースの概要として、「3歳児～小学校低学年」の収容人数は「20人程度」と「0～2歳」は「15人程度」となっているが、この人員は保護者も含むのか？
- ・子育て支援課長：収容人数は、親子の「組（くみ）」と読み替えて運用したい。保護者同伴を前提としている。
- ・橋本委員：「密」の解消の考え方は？
- ・子育て支援課長：国の屋内遊戯室の設定基準（1人当たり3.3平方メートル）を参酌し、設定している。
- ・常通委員：施設管理は指定管理者が担うが、キッズスペースに常設の監視員などは配置しないとしている。安全性の確保は保護者責任と捉えるが、リスク管理は担保できるのか？参考にしている帯広市総合体育館は同様か？
- ・生涯学習課長：「よつ葉アリーナ」を参考にして運用する。
- ・常通委員：キッズスペースを有料にし、安全確保を優先したしくみを検討する必要はないか？
- ・子育て支援課長：キッズスペースの設置に至る経過として、かねてよりの町民から要望のあった大きく3つの課題を解決する手法として検討している。一つに、親が見守れる場、二つに、天候に左右されない遊び場、三つ目に、転倒に不安のない遊び場であり、社会体育施設内では、保護者の一定の責任を前提として、これまで

の要望を実現できる場所と考えている。

- ・ 常通委員：備品等の安全性は？
- ・ 生涯学習課長：「よつ葉アリーナ」を参考にしているので、活用方法も帯広市に確認していきたい。
- ・ 黒田委員：帯広の例が前提との説明だが、実績は把握しているのか？
- ・ 生涯学習課長：社会体育施設内に子どもの遊び場を設けているのは、近隣では帯広市の総合体育館であり、数値的な根拠はないが、利用人数が多く好評と思われる施設を参考にしていきたい。
- ・ 黒田委員：明確な根拠をもとに施設を整備していくべきではないか？今後の取り組みの考え方は？
- ・ 生涯学習課長：今後の予定として、住民からの意見聴取を考えており、「よつ葉アリーナ」の利用者の意見についても加えて調査していきたい。
- ・ 正村委員：まちづくり意見募集の時点で、「よつ葉アリーナ」の利用者から意見聴取するのではなく、検討する前に聴取すべきプロセスではないのか？
- ・ 子育て支援課長：町の子育て支援センター利用者や職員からの「よつ葉アリーナ」の利用実績の声を反映している。
- ・ 正村委員：キッズスペースの利用対象者は？
- ・ 生涯学習課長：運動が基本のため、すべての方を対象にしている。
- ・ 正村委員：体育館利用者に限定するのではなく、子育て世代全体と理解する。町内の既存施設として、子どもセンターの有効活用もあるのではないか？キッズスペースの目的区分は？
- ・ 子育て支援課長：既存の子育て支援関連の施設についても、総合的に、かつ、用途を拡大しながら活用できるよう検討してきた。今回のキッズスペースは、先ほど説明した、これまで町民の皆さんから要望の多かった課題を解決する手法として考えたものである。
- ・ 正村委員：アスリートミュージアムについて、アスリートの定義は？
- ・ 生涯学習課長：芽室町出身でオリンピックに出場された方などを想定している。スペースの条件もあるので、今後の検討にもなる。
- ・ 正村委員：スペースの狭さを懸念する。この場所の選定条件は何か？メリットは何か？
- ・ 生涯学習課長：体育館の玄関からすぐの場所であり、たくさんの人の目につく場所として設定した。現在、展示しているものはこの場で可能。ただし、今後の増え方によっては、場所の変更や展示の方法の検討は、必要になると考える。
- ・ 正村委員：キッズスペースとアスリートミュージアムの併設もひとつのアイデアと考える。アスリートミュージアムは多くの方に見ていただきたい。キッズスペースの必要性が十分に理解できない。
- ・ 生涯学習課長：運動機能と展示機能を同居させることには安全性の担保に課題があり、分離させた経過がある。キッズスペースの設置は、トレーニングルームのスペース利用を模索していた中での新たな活用方法として考えたものである。
- ・ 子育て支援課長：子どもセンター内に、今回検討している「キッズスペース」を設

置することも検討したが、子どもセンターには、利用児童の個人情報等も多々存在することから、登録団体を対象に一般利用も認めている。ただし、不特定多数の利用を可能とするには諸課題もあり、機能区分として、総合体育館の中に新たに設置しようというものである。これまでの要望を解決する絶好のタイムリーな機会と捉えて「キッズスペース」を計画したものである。

- ・ 正村委員：子どもセンターとキッズスペースの差別化の考え方は一定理解するが、トレーニングルームの一部として、アスリートミュージアムを併設することを再度検討する考えはあるのか？
- ・ 生涯学習課長：現在の計画は、地域住民や関係団体等との協議を重ねて今日に至るため、これをベースに意見聴取に進んでいきたい。
- ・ 橋本委員：トレーニングルームの面積が、この資料では理解できない。平面図には面積がわかるようにしていただきたい。
- ・ 生涯学習課長：トレーニングルームは、225.44㎡である。
- ・ 常通委員：施設全体の老朽化に伴い、防犯カメラは設置済か？
- ・ 生涯学習課長：設置していない。今後も予定はない。
- ・ 常通委員：キッズスペースの設置があるのであれば、必須と考える。今後の検討の余地はあるのか？
- ・ 政策推進課長：今後の予定として、まちづくり意見募集の後、めむろ未来ミーティング、さらに、子育て支援課が中心となって独自に関係者と意見交換をするので、改めて総合的な視点で事業実施に至る際に検討の余地はある。
- ・ 委員長：他にないか？
- ・ (意見・質疑なし)
- ・ 委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ 第2期芽室町社会教育推進中期計画（案）策定について 資料 3-1～3-3

- ・ 生涯学習課長：資料を担当係長から説明する旨を告げる。
- ・ 社会教育係長：資料説明（策定スケジュール、案の概要）
- ・ 委員長：「資料3-1」について、意見・質疑はないか？
- ・ 黒田委員：社会教育は小・中学校以外にも高校にも及ぶ。検討経過は？
- ・ 生涯学習課長：ジモト大学の充実という意見があった。
- ・ 黒田委員：町に高校が二つ存在する貴重な財産がある。その点についての議論はなかったのか？
- ・ 生涯学習課長：これまでの議論では意見に出ていない。学校教育分野については入っていないが、今後の検討余地はある。
- ・ 委員長：他にないか？
- ・ (意見・質疑なし)
- ・ 委員長：「資料3-2」及び「資料3-3」について、意見・質疑はないか？
- ・ 黒田委員：子ども110番の「設置」という記載があるが、「設置」が目的とならないよう、「活用」、「運用」を具現化する計画としてはいかがか？

- ・生涯学習課長：御意見を踏まえて再度検討したい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

エ どんぐり会との意見交換会のまとめについて 当日資料4

- ・黒田委員：去る12月8日に開催した「どんぐり会」との意見交換会のまとめを整理した。意見をいただき、まとめたい。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・橋本委員：ワクチン助成の意見があったような気がする。記載はなくて良いか？
- ・黒田委員：改めて、当日の資料を確認して反映させたい。
- ・正村委員：「今後の視点」に「プロジェクトめむろの調査研究」とあるが、具体的なイメージは？
- ・黒田委員：町の委託事業を受けている存在であり、調査研究の可否を含め、検討していきたい趣旨である。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：正副で改めて整理したい。以上で調査事項「エ」を終了する。

- ・委員長：お諮りする。論点整理のための議員間討議を行う。調査事項「ア」について、自由討議はあるか？
- ・(なし)
- ・委員長：適宜、時期を見て継続調査とする。

- ・委員長：調査事項「イ」について、いかがか？
- ・正村委員：キッズスペースの広さ、アスリートミュージアムの場所と広さに疑問が残る。継続して調査したい。
- ・柴田委員：細かな話となるが、資料の平面図から面積がわからなければ、議会で調査するには十分な資料とは言えない。また、俯瞰して言えば、総合体育館は大規模な避難所の役割も担う重要な公共施設のひとつであり、全体の改修計画（経費・スケジュール等）の共通認識を前提とし、それを踏まえた施設機能の配置に係る改修工事の協議・検討となるべきと考える。
- ・橋本委員：資料の平面図にスケールが入っていなければ、判断できない。
- ・常通委員：今後、積極的に継続して調査すべきである。
- ・西尾委員：現場を見ないと判断できない。「よつ葉アリーナ」も視察すべき。
- ・委員長：早急に、今後の調査手法とスケジュールを整理し、委員会で協議したい。異議ないか？
- ・(異議なし)

- ・委員長：調査事項「ウ」について、いかがか？
- ・(なし)
- ・委員長：調査終了とする。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について
正副一任とする。

(2) その他

- ・委員長：12月議会の振り返り事項があれば、12月中にメールで委員長あてに送信
いただきたい。
- ・委員長：各委員からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年12月21日

厚生文教常任委員会委員長 渡辺 洋一郎